

科目番号	1	科目名	福祉と教育	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	羽山 裕子 ( 教 育 学 部 准 教 授 )			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 <b>対面・遠隔併用</b> 大津キャンパスでの対面授業を彦根キャンパスに同時中継する。			
教 室 名	教育学部第24講義室・ 経済学部・データサイエンス学部 第14講義室	会 場	大津キャンパス(彦根でも受講可)	
授 業 期 間	2023 年 4 月 11 日 ( 火 ) ~ 2023 年 7 月 18 日 ( 火 ) <毎週 火曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 ( 筆 記 )			%
	レ ポ ー ト 試 験 ( 期 末 )		60	%
	平 常 点 ( 出 席 ・ 授 業 態 度 )		40	%
	そ の 他 ( )			%
別 途 負 担 費 用	<b>なし</b>		あり( )円	
そ の 他 特 記 事 項				
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>				
<b>【授業の目的と概要】</b>				
本講義では、学校教育の基本的な仕組みについて学び、さらに、現代的諸課題に対して学校や関係機関がどのように対応し得るのかを考えていく。講義は大きく三つのテーマに分けられる。1)学校教育の基本的な仕組みの理解(主に第1回～第5回)、2)多様な課題に対する学校教育での対応(主に第6回～第10回)、3)学校教育の周辺に位置づく人や機関(主に第11回～第15回)である。				
<b>【授業の到達目標】</b>				
本講義を通して以下のような目標に到達することが求められる。				
1)学校教育の基本的な仕組みについて理解する。				
2)学校が現代的課題、とりわけ子どもたちの多様なニーズに対してどのように対応し得るのか、また、その限界はどこにあるのかについて、具体的な事例から考察することができる。				
3)学校教育を支える学校外の人や機関について知り、学校教育との関係性のあり方を理解する。				
<b>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】</b>				
各回の授業テーマに関して、自身の被教育経験をふりかえって具体的なイメージを持っておくことが、事前学習として望まれる。また、予習教材を配布された場合は事前に読んでおくこと。				
事後学習としては、授業中に配布された資料を復習すること、授業内で知った他の受講生の意見と自分の意見とを照らし合わせて考察を深めることが求められる。				
事前学習に2時間、事後学習に2時間				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4月11日	オリエンテーション
2	4月18日	何を学ぶか——カリキュラム
3	4月25日	どのように学ぶか——学習の場、学習形態
4	5月2日	何を使って学ぶか——教材、教具
5	5月9日	学びをどのようにとらえるか——教育評価
6	5月16日	障害があったら？
7	5月23日	病気になったら？
8	5月30日	経済的に困難を抱えていたら？
9	6月6日	日本の言語や文化に不慣れだったら？
10	6月13日	学校に行きたくなかったら？
11	6月20日	就学前とのつながり
12	6月27日	放課後の居場所
13	7月4日	塾と学校
14	7月11日	保護者
15	7月18日	まとめ
＜教科書・参考書＞		
教科書は特に指定しない。講義内で資料を配布しながら進める。		